

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023004065

事業名: 宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営(2年目)

団体名:(特)アスイク

代表者名:代表理事 大橋 雄介

TEL:022-781-5576

事業完了日:2024年3月31日



## ■契約時

事業費総額	:	16,900,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	16,900,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

## ■事業完了時

事業費総額	:	14,996,378 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	378 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	14,996,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	1,904,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### 1.事業内容

宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営および備品整備  
(1)期間:2023年4月~2024年3月(週5日、14時から20時まで開所)  
(2)場所:宮城県岩沼市  
(3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。また、拠点の運営に必要な什器家具等の備品整備を行う。

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営および備品整備  
(1)期間:2023年4月~2024年3月(週5日、14時から20時まで開所)  
(2)場所:宮城県岩沼市  
(3)対象:17名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援した。また拠点運営に必要な什器家具等の備品整備を行った。



#### (3)成功したこととその要因

目標値であった利用児童数15名を超えた。自治体担当課をはじめ学校、他機関等との地道な関係づくりが成功要因。

(4)失敗したこととその要因

開所時はスムーズに対象児童らとつながりが持てたが、以降のこどもの集まりが悪かった。自治体担当課からの繋がりが想定よりも少なかったことや関係機関への事業周知に苦慮した点などが要因。

(5)事業内容詳細

事業成果物等参照

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2024年3月31日までに利用児童数を15名にする
- ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
- ・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業機関内に10回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	422	文字数チェック	OK
<p>・2024年3月末時点で利用児童数は17名となっている。</p> <p>・1年間、大きなトラブルなく食事や生活習慣支援を安定的に提供することができた。 利用延べ日数1,068日/年。複雑な家庭環境、不登校、食事も十分に摂れていない子ども達に全日夕食提供実施。挨拶、時計の読み方、食事マナー、歯磨きなどの生活習慣支援も実施。</p> <p>・行政、学校との関係構築は利用児童を通じて連携を深め、ボランティアは地域の学生ボランティア7名が延べ100時間程度の活動実績を残した。</p> <p>・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントは月に2~3回実施し、延べ33回実施。 MORIUMIUSオンラインプログラム 12回 拠点調理イベント 9回 地域企業見学 1回 子ども企画行事 1回 収穫体験 2回 乗馬体験 1回 体育館活動 3回 他機関協働 3回 宿泊体験 1回 子どもたちの機会的貧困に対して様々な体験プログラムを用意した。</p>			

### 3.事業実施によって得られた成果

宮城県内初となる子ども第三の居場所事業の開設・運営初年度ということで注目度高く、子ども第三の居場所への認知度や必要性のアピールとなり、近隣自治体、他団体などの見学受入れを9件対応。

登録時点では不登校であった子どもが居場所の経験から自信や活力を得て登校再開に至ったケースが5ケースあった。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

・当法人は要対協にも参加しているため、岩沼市から本事業の利用を勧める家庭もいわゆるヘビーケースが中心である。必要とする家庭は多いものの、ヘビーケースが多いがゆえに、利用に至るまで保護者との関係構築の難しさがあり、時間がかかった。今後も市の担当者と連携し、機会をみて保護者に直接アプローチできる機会を増やしていく。

・送迎ニーズが高く、より必要な家庭に限定して提案する必要性がある。

・小学校低学年からの不登校、ひきこもり傾向の子どもが多い。中でも困難な家庭環境が背景にある子どもについては、学校・SSW、他機関等との連携をより強めていく必要性がある。

### 5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

該当なし

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ <https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gragui01-1.pdf> (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。

## 2023年度 収支計算書

2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで

(単位:%)

団体名: 特定非営利活動法人アスイク

事業名: 宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営(2年目)

契約書(記3)に記載の補助率

100

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	16,900,000	14,996,000	16,900,000	0	1,904,000
② 自己負担		378	378		
③ 収入合計	16,900,000	14,996,378	16,900,378	0	1,904,000

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
給料手当	11,352,000	11,251,156	10,414,682	836,474	
印刷製本費	60,000	75,495	72,664	2,831	
旅費交通費	336,000	100,534	89,426	11,108	
通信運搬費	222,000	60,253	60,253		
消耗品費	300,000	551,827	514,182	37,645	
水道光熱費	540,000	421,555	372,126	49,429	
保険料	160,000	273,865	273,865		
食材費	1,080,000	224,745	179,161	45,584	
使用料	240,000	163,675	151,014	12,661	
その他	110,000	159,040	159,040		
備品費	2,500,000	1,714,233	1,714,233		
支出合計(端数調整前)	16,900,000				
端数調整欄	-				
④ 支出合計(端数調整後)	16,900,000	14,996,378	14,000,646	995,732	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

## 【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生

有り

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力の間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計=予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計=決算額(y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計-助成金返還見込額=支出済額(z)+未払額④支出合計	OK

## セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

- ① (収入の部)の予算額 (A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
- ② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と (支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
- ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。